

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

ソフトウェア技術による新たな付加価値を通じ、顧客に安心と満足そして豊かさを提供し、社員を大切にし、株主に貢献する

売上高
100億円

EBITDA
20億円

時価総額
300億円

従業員数
368名

2 中長期の経営戦略

1. 半導体ナンバーワン化

半導体産業領域における経験とノウハウを活かし、ナンバーワン・システムインテグレーターとしての地位確立

3. エンジニア規模の拡大

優秀なエンジニアリソースの採用と育成を通じ、市場ニーズ対応と事業拡大を実現

2. AI事業の独自ブランド化

画像認識技術を駆使したAIソリューションをIP化し、ライセンスビジネスへ展開。生成AIによる自動化技術も活用

4. 横浜キャピタルとの提携

採用・人材基盤強化、M&Aによる事業拡大、DX推進による営業基盤拡充と生産性向上を推進

3 対処すべき課題

① IT人材獲得・育成

- ・ソフトウェア市場拡大に対し、IT人材不足が課題
- ・2030年までに16万人から79万人のIT人材不足予想
- ・優秀なエンジニア採用と高度専門人材育成が必須

② AI技術の実装高度化

- ・適切なAIアルゴリズム選択・実装・評価の需要が拡大
- ・あらゆる産業分野で機械学習応用が必要化
- ・画像認識などセンシング技術の応用領域が拡大

③ 半導体市場の波への対応

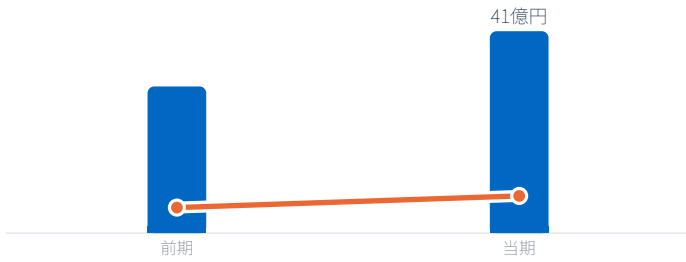
- ・半導体サイクルによる好不況の大きな変動に対応
- ・2025年度はメモリ・ロジック製品の高成長予測
- ・2026年度はAI関連を牽引役とした市場拡大予測

面接で使えるポイント

- ・ソフトウェア中心の時代に半導体・AI・DX領域で100億円売上、300億円時価総額達成を目指す成長戦略
- ・2030年IT人材16～79万人不足予想の中、368名から優秀なエンジニア採用・育成を加速する人材戦略
- ・画像認識AI技術をIP化・ライセンス化し、受託開発から事業モデル転換を目指すビジネス革新

証券コード 4055

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
41億円営業利益率
18.4%財務健康度
90点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 53.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
657万円

情報・通信業内 289位/592社

平均年齢
35.7歳

情報・通信業内 430位/593社

平均勤続
8.9年

情報・通信業内 180位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: ティアンドエスグループ[4055]: 自己株式の取得状況に関する

